

第4回 北九州市環境賞授賞式

第17回 アジア女性会議 — 北九州

「公正で豊かな未来を創る ~持続可能な開発のための教育とは~」

平成18年

11月18日 土 13:00~17:00 / 19日 日 10:00~16:00

場所 ▶ 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2階ホール他

主催：北九州市、 KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN
アジア女性交誼・研究フォーラム 共催：北九州ESD協議会(女性会議)

後援：環境省、外務省、経済産業省(以上北九州市環境賞)内閣府、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、中華人民共和国駐福岡総領事館、在福岡大韓民国総領事館、在福岡ノルウェー王国名誉総領事館、国連人間居住計画アジア太平洋事務所、国際協力機構(JICA)九州国際センター、福岡県、北九州市教育委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞福岡本社、西日本新聞社、日本経済新聞社、時事通信社、共同通信社、福岡北九州放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS、TVQ九州放送、アジア共生学会(以上女性会議)

協賛：北九州市女性団体連絡協議会、北九州市婦人会連絡協議会、北九州市男女共同参画地域推進委員の会、北九州市保育員連盟、北九州市立幼・小・中・高諸学校母性管理職の会、北九州市PTA協議会、高齢社会をよくなる北九州女性の会、北九州消費問題婦人協議会、北九州国際女性研究会(ニス・ウイング)、北九州EBS21・OB会、子供の性と命の教育コミュニティ/セサ、国連女性開発基金(ユニフェム)日本国内委員会北九州地域委員会、国際ンタ20地区エリア4北九州ンタクラブ、日本BPW連合会北九州クラブ、国際ソロプチミスト北九州、国際ソロプチミスト北九州一宮、国際ソロプチミスト北九州一西、国際ソロプチミスト北九州一南、OASO(Our Asian Study Circle)、北九州市婦人教育推進会、北九州婦人教育研究会、北京JAC九州・山口・沖縄、北九州市母の会連絡協議会、北九州市暮らし改善推進協議会、特定非営利活動法人 北九州市すこやか住宅推進協議会、(財)北九州国際交流協会、北九州人権フォーラム21、北九州市同和教育研究協議会、(財)北九州国際技術協力協会、(財)国際東アジア研究センター、(財)北九州活性化協議会、(財)北九州YMCA、(社)北九州青年会議所、北九州商工会議所、北九州市立大学、学校法人東筑紫学園、西南女学院大学短期大学部、九州女子大学、九州女子短期大学、九州国際大学(藤平町、女性会議)

協力：よみうり北九州顕彰基金(北九州市環境賞)

11月18日(土)

北九州市環境賞授賞式 13:00~14:00

- 主催者挨拶 ○末吉 興一(北九州市長)
 来賓挨拶 ○中島 慎一(北九州市議会議長)
 ○環境省
 発表及び講評 ○北九州市環境賞選考委員会
 賞状・賞金授与 ○末吉 興一(北九州市長)
 受賞者挨拶 **大賞** ○グロ・ハルレム・ブルントラント
 (元・環境と開発に関する世界委員会委員長)



グロ・ハルレム・ブルントラント

特別功労賞 ○花嶋 正孝
 (財)福岡県環境保全公社リサイクル総合研究センター長、福岡大学名誉教授

- 奨励賞** ○財団法人 タカミヤ・マリバー環境保護財団
 ○特定非営利活動法人 環境みらい塾
 ○財団法人 トトロのふるさと財団

北九州市環境賞は、北九州市が「世界の環境首都」を目指す取組みの一つとして、環境分野における卓越した貢献のあった団体、個人(国内外を問わず)に毎年1回、授与しその功績を顕彰するとともに、各分野における様々な関係者がネットワークを広げていくことを目指すものです。

アジア女性会議 シンポジウム 14:00~17:00

「公正で豊かな未来を創る—持続可能な開発のための教育とは—」

- パネリスト** ○阿部 治(立教大学教授、ESD-J代表)
 ○サルファリナ・アブドゥル・ゲイバー(マレーシア科学大学講師)
 ○鈴木 克典(国連大学高等研究所上席研究員)
 ○バク・ウンギョン(韓国・環境文化研究所長)
 ○廣野 良吉(KITA環境協力センター所長、成蹊大学名誉教授)
- コーディネーター** ○三隅 佳子((財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長)



三隅 佳子



阿部 治 サルファリナ・アブドゥル・ゲイバー 鈴木 克典 バク・ウンギョン 廣野 良吉

先進工業国が中心に進めてきた開発のあり方では、現在を生きる世界のすべての人々に人間らしい生活(衣食住・教育・福利厚生等)をもたらすことができないだけでなく、将来の世代がその能力を開花するために必要な資源を残すことができません。

したがって、これからの開発は、経済開発だけでなく、社会開発(健康・教育・福祉の充実、文化振興、公平性の向上等)、環境保全がバランスよくなされる必要があります。

そのためには、幅広く市民への啓発活動を展開していくことが必要だと認識から、国際機関、各国政府、NGO、団体、企業などのあらゆる組織間の連携を図りながら教育・啓発活動を推進していく「国連 持続可能な開発のための教育の10年」が、日本の提唱により2005年から始まっています。

北九州市においても、「世界の環境首都」実現に向けてのグランド・デザインが作成され、NGO/NPOレベルを含め、様々な分野で持続可能な社会へ向けた取り組みが実施されています。

こうした様々な分野で活動する団体のネットワーク強化を図るため「北九州ESD協議会」も発足しました。持続可能な開発とは何か、またそのための教育とはどういうものなのかをジェンダーの視点も踏まえ、広く市民の皆さんの理解・認識を深め、今後の活動に繋げていきます。

11月19日(日)

研究員活動報告 10:00~12:30

* (財)アジア女性交流・研究フォーラムの研究部門の活動と成果を広く市民と共有します。

- 橋本 ヒロ子((財)アジア女性交流・研究フォーラム客員研究員、十文字学園女子大学教授)
共同研究者 三輪 敦子((財)世界人権問題研究センター研究員)

「権利をよりどころにするアプローチの展開とアジアの女性エンパワメント」

- 平田 トシ子((財)アジア女性交流・研究フォーラム客員研究員、九州女子短期大学教授)

「大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の企業内教育と労働実態」

- 森田 明彦((財)アジア女性交流・研究フォーラム客員研究員、東京工業大学国際室特任教授)

「東アジアの人身売買被害女性から見た日本社会の問題点」

国際シンポジウム 13:30~16:00

「介護の未来に向けて—外国人介護スタッフとの共生—」

- パネリスト** ○西村 アーリン・クィゾン(八王子市永生病院介護スタッフ)
 ○芳賀 祥泰(社会福祉法人 年長者の里常務理事)
 ○ヤオ S.A. ブレンダ(国立シンガポール大学準教授)
 ○ティン・ロストガード(デンマーク国立社会研究所研究員)

- コーディネーター** ○篠崎 正美
 ((財)アジア女性交流研究フォーラム主席研究員、熊本学園大学教授)

進み行く少子高齢社会の中で将来的に介護や看護を担う人材の不足が言われています。他方、経済のグローバル化の中で、日本は経済連携協定(EPA)によってフィリピンからの看護・介護スタッフの受け入れを開始することが決まりました。

日本でほとんど経験のなかった分野での新たな動きがどのように進んでいくのか、高齢者やその家族、施設経営者、介護スタッフ等が、それぞれの立場でこれからどのようにして外国人スタッフ(主に女性)と共生していけるのか、また共生を可能にし、外国人スタッフが人権を尊重されて働くために、国や地方自治体はどのような仕組みや環境を整備しなければならないのかなど、重要な課題が山積しています。

(財)アジア女性交流・研究フォーラムは、この問題に長年の経験を持つヨーロッパと、日本より一足早くこの政策を導入しているシンガポール及び台湾の研究者と共同研究を実施しています。今回はその研究成果の報告や、関係者の意見をもとに、「あらたな開国」とも言えるこの状況に対して、私たちの介護の未来を参加者と一緒と考えたいと思います。

共催事業 / アジア共生学会

11/18

円卓会議 10:00~12:00

「アジアの共生、男女の共生」 場所: 5F大セミナールーム

併催事業 / 人権パネル展

10/28

11/20

人権パネル展

(韓国人権委員会パネル、識字パネル、竹田の子守唄パネル等)

場所: ムーブ1階交流広場 主催: 人権フォーラム21

参加申込
お問合せ

KITAKYUSHU FORUM ON ASIAN WOMEN
 財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号北九州市大手町ビル3階
 TEL(093)583-3434 FAX(093)583-5195

○どなたでも参加できます。(事前にお申し込み下さい。) ○参加無料 ○託児あり6ヶ月~就学前(おやつ代1人100円) ※10月末までにお申し込み下さい。
 ○先着順受付 ○お申込み/電話、FAX、Eメールでどうぞ ※詳しくはホームページでもご案内しています。

URL: <http://www.kfaw.or.jp> E-mail: exchange@kfaw.or.jp